

# 自主・創造・根気

第4号

2018. 4. 24

三田市立狭間中学校

## 学校で学ぶ意味

\*4月16日の新入生歓迎会から

もし、この狭間中学校に生徒会や部活動がなく、体育大会や文化祭、転地学習や修学旅行などの行事もない、ただひたすら毎日授業を受けて勉強に勤しむ学校だったら皆さんはどう思いますか。

確かに、勉強は皆さんの本分ですから頑張らなければならないものです。でも、勉強だけの学校って味気ないですし、人間性が磨けるとも思えません。生徒会や部活動いろいろな行事を通して多様な人と関わることに大きな意味があるように思います。

そして、大切なこれらのことには、皆さん一人一人が活躍できる機会と場があり、自分を成長させることにもなります。人任せにせずに「自分にできることは何か」を考えて、積極的に取り組んでほしいと思います。

## 正義が支配する学級に

\*4月18日の全校集会から

腸内細菌の世界は、興味深いものがあります。厳密には正しくないですが、簡潔にまとめるとこうなります。

細菌には、「2割の善玉菌と1割の悪玉菌、そして7割の日和見菌」がします。善玉菌は身体に有用な働きをする菌で、悪玉菌は身体に悪い働きをする菌です。日和見菌は、“日和見”の意味が「有利な方に付こうと形勢をうかがうこと」であるように、善玉菌と悪玉菌のどちらが優勢であるかを見極め、優勢である方に加勢する菌です。日和見菌は、善玉菌が強いと善玉菌になびいて“発酵”させますが、悪玉菌が強いとそっちになびいて“腐敗”させることになります。

まるで人間の社会を見ているようです。学校生活で例えるなら「みんなで頑張ろう」という声と「やめよう、めんどくさい」という声のどちらが強いかで態勢が決まることになります。悪行をする人がいても善行をする人が勝れば、集団は悪行を否定し善行を支持することになるのです。

## 「仏様の指」に思う

\*PTA総会挨拶から一部抜粋

「教えるということ（大村はま）」という本の中にこんなお話があります。

「仏様がある時、道ばたに立っていらっしゃると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこはたいへんなぬかるみであった。車は、そのぬかるみにはまってしまって、男は懸命に引くけれども、車は動こうともしない。男は汗びっしょりになって苦しんでいる。いつまでたっても、どうしても車は抜けない。その時、仏様はしばらく男のようすを見ていらっしゃいましたが、ちょっと指でその車におふれになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いて行ってしまった。」

<略> 男はみ仏の指の力にあずかったことを永遠に知らない。自分が努力して、ついに引き得たという自信と喜びとで、その車を引いていったのだ。

<略> もしその仏様のお力によってその車がひき抜かれたことを男が知ったら、男は仏様にひざまずいて感謝したでしょう。けれども、それでは男の一人で生きていく力、生きぬく力は、何分の一かに減っただろうと思いました。お力によってそこを抜けることができたという喜びはありますけれども、それも幸福な思いではありませんけれども、生涯一人で生きていく時の自信に満ちた、真の強さ、それははるかに及ばなかつたろうと…。 <略>

困っている時に助けてやれば、子どもは感謝するでしょう。でも、今度同じようなことが起きれば人を頼る心が起きるでしょうし、もっと言えば「なぜ、助けてくれないの」と、攻める気持ちが出てくるかもしれません。大人が我慢できずに子どもの全面に出してしまうと、往々にして良い結果は得られないのではないかと思います。

自分に自信を持ち、社会を生きぬく力を子どもたちに培っていくために、学校と家庭とが協力して陰から支えながら今年度も取り組んでいきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

### ○授業参観・PTA総会・学年懇談会、お世話になりました。

生徒たちの授業の様子はいかがでしたでしょうか。

PTA総会（4/21）では、新旧のPTA役員の引き継ぎも行われました。旧役員の方々には、1年間本校の教育のために貴重な時間を割いていただき本当にありがとうございました。また、新役員の皆様、これからよろしくお願ひいたします。